

## 第6回 信州須坂まちの元気創出推進委員会

### 議事録

【日時】 令和4年4月13日（水） 13:30～16:15

【場所】 生涯学習センター（旧中央公民館）3階ホール

#### 【内容】

1. 開会
2. あいさつ
3. 全体進捗と今後の予定について
4. 議事
  - (1) 2021年度事業の中間報告と2022年度各事業計画について
  - (2) 「産業振興」「文化振興」「回遊促進」の3部会で検討した事業計画について
5. その他
6. 閉会

#### 【出席者】

38名

(委員12名 市関係者17名 事務局5名 事業者1名 部会長・アドバイザー 3名) 他傍聴人

#### 【オンライン参加】

長野経済研究所、DMM.com

#### 【資料】

- ・次第
- ・席次
- ・事業説明 地方創生推進交付金採択事業
- ・2021年事業報告書
- ・監査資料
- ・2022年度計画書
- ・予算書

【会議内容】

1. 開会

2. あいさつ 委員長

3. 全体進捗と今後の予定について

●説明：事務局

●質疑：なし

4. 議事

(1) 2021 年度事業報告

「産業振興」「文化振興」「回遊促進」の3部会で実施した事業内容について

①文化振興事業

●説明：事務局

●質疑：なし

②回遊促進事業

●説明：事務局

●質疑：

委員：観光のインバウンド向けに必要なかと思う。石柱案内板から臥竜公園までは徒歩での所要時間などの地図情報については、Google マップなどを利用できるのか。

事務局：そこまでは掲載されないかと思うが、待っている場所が須坂の地図に距離が表示されるようになっている。

委員：今後追加できるのであれば、案内を見ている場所から目的地までの距離なり徒歩での所要時間なりを入れていただきたい。

事務局：今後検討したい。

③産業振興事業

●説明：事務局

●質疑：なし

(2) 2021 年度決算について

●説明：事務局

●質疑：なし

### (3) 2022 年度各事業計画について

#### ①文化振興部会計画について

委員：ロゲイニングは文化振興の活動と回遊促進、産業振興でうまくつながることを強く期待している。

文化振興だけでの実施だとそれだけになってしまうので、他の部門との連携でつながっていて市のいろいろな活動でつながっていければ、長い先を見通した観点で大事だと思う。今回で終わってしまったら困るという意見が部会で出ている。その辺をことをとらえた取り組みを含めてほしい。

委員長：続けていけるようにしっかり取り組んでまいりたい。今年度はロゲイニングをメインで行って無関心層を関心層にかえると。そういうことでいいですね。他に意見があれば。

委員：昨年実施のロゲイニングは上級者が参加されて計画だと若年層や高齢者とありますが。計画を見るとスピード感を抑えてとありますが、昨年の改善点と反するような。例えば昨年度は 128 名のうち 7 割が市内からの参加で 30 代なのでゲーム性を高めるようなイベントにした方がいいんじゃないかと思う。あまり施設を見てもらえなかったという意見があったということだが、施設回遊の前後の一環として各施設を深く知りたいのであればピラを配るとか。

事務局：今年の事業者募集の際にはそのような内容も付して募集していきたい。

委員：文化振興部会で入口だけ見て帰ってしまう。中身を見ていないという意見があった。また実施内容も高齢の方はとてついでにいけない。ロゲイニングというものを楽しんだ方がいいんですけどもやはり目的は文化振興ですのでそれに即した形に変えていただきたいという願いをした。新しい事業者さんが検討してもらえればいいんですけども例えばグループをわけるとか、案内をすることか。ロゲイニングの基本的な形ではなく須坂市を知っていただきたいと思います。

委員長：スピード性重視だけではなく施設の中に入る仕組みづくり等検討していきたい。若年層、高齢層が楽しめるような中身を検討したい。反映できるように公募をしていく。

#### ②回遊促進事業

説明：事務局

委員：これだけの事業を実施するので実証をしてほしい。どれだけの人が来てという部分。多くの方に須坂の魅力を感じてほしい。インフルエンサーマーケティングというのは WEB 上でファンがついて影響力が高いということらしいがその辺りを説明してもらえれば。

事務局：インフルエンサーの方で有名な方もいらっしゃると思うが、費用面もありますので業者の中でつながりのある方の中で選んでいくということになる。

委員長：米子大瀑布休憩所は今年設計をして 2022 年度に整備するという。駐車場に今のものがあるが。こちらもう少し教えてほしい。

商業観光課：駐車場にあるトイレがだいぶ老朽化しているのですが男性と女性が明確にわかれていないような形になっており、そういった背景があり休憩所を併設して整備するというもの。水と電気がきていないので、電気については太陽光を集め利用する。水は水質が少し酸味があるということで調査が必要。汲み取り式で計画している。

委員長：休憩所の中で市内の情報を得るとなる。次に観光交流センターのイートインコーナーを設けるということだがどんな風に考えているか。

委員：今も、珈琲は出していただけるんですけども、観光客の方がゆっくり休めるような施設になっていない。イートインはそこで少し軽食を食べたりしながらなんですけれども、そういう部分を設けた

りして観光客が休憩場としての機能を少し強化していきたいという。それに伴い、職員の方が使いやすいようにしたい。

中の整理も終わってから渡されたので当初の造りが使いづらいということもあります。扉の中にある植栽も少し整理しまして、自転車の駐輪場とか、その裏庭でも少し休めるような、そんな形で整理したいというふうに考えています。将来的には飲食も同じようにできれば。まだ未定だが、まず何をするかというところがあり、そこら辺を検討していくというふうにしたい。今の副市長の質問は交流センターの改装事業なんですけど実は今もう観光交流センターは飲食の許可を取ってできる状況。ただコロナ禍がやっちゃってそこで飲食するっていうのはちょっと難しい。

現状はコーヒーを出している。実際には総延長上でそこで飲食ができるスペースを整備。数年前にフルーツエールがだせないかと市の方の要望もあって飲食の許可をとった。今回の改装によって新しい交流センターの改装というふうに考えている。ただ、交流センターの指定管理期間を受けた当初からあった造りが使いづらいということで物販なども見直したい。

Eバイク についてサイクルツーリズムなどそういう企画が充実していく。交流センターに駐輪場を作り、Eバイク によって近郊巡ってもらつツアーも力をいれてやっていきたい。5人くらいのツアーもできるように10台程度の導入を考えている。Eバイクはかなりアシストが強い。

委員長：日祝バスの関係で。4月10日に私も出させてもらって実証運行の初日を迎えた。この様子をちょっと話してほしい。アンケートもとっている。

市民課：アンケートは事業者等に委託せず、こちらで急遽実施。4月10日の様子ですが、最初の1便のときには50人ぐらい乗車していただき、満員の状態。それ以降はそんなギュウギュウ詰めという感じではなく、全体として150人ぐらいの方に乗車いただいた。またアンケート等については、大事な資料としたい。

委員長：笠鉾会館の映像システムは今のものは壊れているんですけど新しくなるということで。こちらについて話してほしい。

事務局：今の3面スクリーンを撤去し、1面にする予定。横は大体ですね、2間から3間ぐらい。プロジェクターを設置してそこに映し出しにくいような形になる。

委員長：今の内容を踏まえてご意見があれば。

委員：今の音響関係なんですけど、今現在のスクリーンのところへつけるということでよろしいですか。

事務局：スピーカーの場所はこれからになります。

委員：あの狭い空間の中で3面スクリーンというのは、スピーカーの場所にもよるんですけど、下に観光の皆さんが来ていると見てる人はいいですが下で話して邪魔になることもある。それからあのスクリーンがある上の方が暗くなる。笠鉾の場合は、上の方を見てもらいたいわけで足元は当然、全部もらいたいんですが。今のスクリーンではなく薄型テレビで対応した方がいいんじゃないかなと思う。場所がうまくできれば人の邪魔にもならないし、もう少し明るくしてもらおうとよくなるなあという気がする。検討していただくとありがたい。

事務局：今あるところに付け替えというようなイメージしか持っておりませんでしたので、ちょっと場所を変えるためですねそういったことも検討したり、他の博物館等がどういう形で運用してるかちょっと調べてできることは対応するようにしたいと思う。

委員：観光交流センターにはリンゴの木がある。いつ消毒してるのかいろんな形になったり大変だな。と話している。ぶどうやりんごをいろんな面で知っていただければ。知り合いに須坂のリンゴ買っているよという方もいる。大変な作業で農薬や肥料もやってるでしょうし。それもまた知っていただけれ

ば、いろんな人の力になれるんじゃないか。農業を広げていくと力になる。そういうことで力を出していただきたくよろしくお願いします。

事務局：ご意見ありがとうございました。他の事業の中でも反映できる部分があれば。

委員長：他にご意見ありますか。

委員：文化振興部会に出席している。11月のロゲイニングは予定では1回のみ。多くの方に参加してもらうためには1回だけではなく2回実施してほしい。

委員長：ご意見としていただいたということで、事業者に相談する中で検討するというところでよろしくお願いします。

### ③産業振興事業について

説明：事務局

部会長：産業振興部会の方は契約方式については事前に協議し、私の方から連続性の担保や契約工程が少なくするためにも随意契約でやってほしいと強くもうしあげ、それに対してやっていただいたことに対して感謝する。そして資料内容の2022年度の事業を提出いただいた資料の概要については、意見はない。ただし、2022年度はどのようにしてやるのか、その内容をどういった形で構築していくのかということで、いろんな方法手段でそれを部会の中で十分検討していきたい。私も商工会議所の方から出席しておりますけれども、私が引き継いで8カ月ちょっとぐらいなものですから最初の方の決められた部分についてはわからない部分が結構ある。ただし、部会の方では、当初からどういうふうにしてやるのかという議論よりも、やることはある程度決められ、追認の方式が非常に多かったのかなというような印象を持っている。後付けではなく出発点から検討にあたってもらってこういうふうにした方がいいというようなものが反映させればより良いのかなとかいうことで考えている。私も商工会議所の代表で出ているので事業として何をやったかっていうのはそんな大きな問題じゃなく、その結果どんな課題があったのか商工会議所はそれを受けて何かやればいいのかということが非常に大きな問題。そういったことを少し配慮いただきながら、部会の運営は進めていければ。特にエコシステムにつきましては若干こういうふうにしていただきたいというような思いもございまして聞いていただければ。実はこの地域エコシステムで新しいものを作るということに関しては、商工会議所でもたくさんやっている。うまくいった例もあるが失敗した例もある。そういったことで、今回の地域エコシステムについては食品ロスなくすという観点からやっておりまして、いくつか商品の開発をしている。商品についてどれだけの評価が得られたかといったアンケートが3月いっぱいにはまとまりますというようなことだったので、結果を受けて反映し部会でも検討したい。ライブコマースを使って販売をし、結果はどうだったのかこれを受けて初めて今年の内容も決まってくるということもあるので今回の委員会の中でフォローしていただけるものがあればフォローしていただいた上で、この内容についてどうやっていけばいいのかを検討させていただければ。特に商工会議所としては、インターチェンジ周辺開発、これはもう戦略資源として位置づけている。中心市街地との連携をにあたるこれが非常に大きな問題なのでこれも視野に入れた形で、他の部会の方でもいろいろと検討をしていただければというふうに思っている。それで今までかなり連携不足ということがあったと思っており、部会間の連携であったり、部会の中での事業間連携、それから本事業と対外組織ですね、例えば商工会議所、観光協会そういったところとの連携も、今回事業いろいろやってみましたとただし、何も残らなかったというのは我々にとっても最悪の事態ですから、遺伝子を残していただきたい。それをお願いします。

事務局：ありがとうございます。SDGs関係ということで言いますと昨年シャインマスカットの価格が少し安くなりそちらを活用したシャインマスカットエールを開発した。リングは体験型ですね、ライブコマースというようなものを試験的にしており、インターネットで試験販売だけじゃなく、ライ

ブ中継という要はインターネット上で生放送するというような仕組み。それぞれの事業につきましては、目的が重要なところで、それぞれの部会の方で検討させていただいている内容ではございますが、特に地域エコシステムの構築事業の中でも商品開発の内容につきましては大変難しい内容ですので、これから部会の中でですね、その辺についても十分検討してまいりたいというふうに考えています。おっしゃる通りいろんな団体とかとの連携など。

部会長：今後事業間連携は大事なことになると思いますし、事業の例えばブドウの企画の実施の支援ですとか、そういった事業についてもどういうふうに聞いてたらいいか文化財保存活用倉庫の映像資料の活用についても。どういうふうにしたらいいか協議する必要があるんじゃないかと私は思う。そのためには、お願いしたいと思って。見えずらいこともあると思うんで事業者からも提案してほしい。そのための随意契約。運用についてはお任せしたいと思う。

委員長：アドバイザーの方からご意見あればお願いします。

アドバイザー：事業を繋げていくことが重要になってくるのかなと思う。一つずつの誘引力あるそういう単体ではなく。須坂の観光もしたいという他の方も繋がっていくような形で、各事業の支援できるっていうのが良いのでは。ロゲイニングの関係とかをあると思うんですけども、そちらについても、幅広い年齢層でするのもいいと思うのですがイベント等については、そういう魅力ですとか他のものとの差別化もあると思い、ある程度刺激になるような検討も考えてほしいと思う。

委員長：ありがとうございました。〇〇委員、ご意見いかがですか。

委員：ブドウについて情報提供など協力したい。

委員：ブドウの展開について。前回、JAの方から、ぶどう祭りがとにかく人手が大変だとか、あと場所は大変だという話があった。誰がどこでやるのかといったことが課題。ちょうど今年度の随意契約ということですので、そのあたり1回のイベントを皆さんやると思うんですけども、今後継続的にやっていくためには、誰がどこでやっていくのか。課題になると思いますですね、検討していただければ。

委員：ぶどう祭りを継続して実施していくのはかなりのコスト。これを乗り越える策がないと継続は難しいのではと考えている。

#### (4) 2022年度予算について

説明：事務局

委員長：全体を通じて傍聴人の方からもご意見あれば。

傍聴人：途中から傍聴しているが資料をよんでいるものの要点だけの説明で具体的なものが見えてこない。具体的にどうゆう風に知らしめるという風に進めていくのか。

事務局：今日の報告について、わかりにくいところはわかりやすくしていく。こういった事業をやっているとわかるように市民フォーラムを開催予定。大勢の方に参加してもらえるようにしたい。事業内容はこれから仕様書をつくりプロポーザルなどで決めていく。米子の休憩所などは設計通りに整備する。全てを仕様の中で掲載するのではなく、事業者からも提案をいただけるようにしたい。

委員：高校生が新しい品物をつくったり、空き家を改装している計画がある。おもしろかったのは高校生が「チョコバナナどら焼き」を作ったら大ヒットした。面白い発想をするので商品開発などにいかせたらよいのでは。

事務局：情報を確認させていただきたい。

委員：アプリの改修100万円は内容としてはなにをしていますか。

事務局：アプリとホームページにおいて誤字や多少の不備がある部分を修正するための費用として計上している。

委員：アプリを立ち上げてかざすと情報が見れるという話があったが。

事務局：アプリのバージョンなどによってシステムが使えない場合もあるがアプリ自体に機能としては掲載している。

委員長：質問については、終了させていただく。たくさんのご意見もありそれぞれ対応する際に意見を付した上で、また事業者採用の入札等も行ってまいりたいと思う。それでは以上の事業の概要、事業内容それから予算について採決を取らせていただきたいと思います。事業計画、それから予算について承認いただける方は挙手をお願いしたいと思います。全員の皆さんの賛同ということで、ありがとうございました。

## 5. その他

### (1)今後の予定について

- 説明：事務局
- 質疑：なし

## 6. 閉会

以上